

セントポール市姉妹都市提携 70 周年記念訪問団報告書

長崎市議会議員 相川 和彦
長崎市議会議員 井上 重久
長崎市議会議員 向山 宗子

1 訪問の目的

日米初の都市間提携であるアメリカ・セントポール市と姉妹都市提携 70 周年を迎えることから、長崎市からセントポール市へ公式訪問団を派遣し、記念行事などに出席することで、今後の関係強化を図り、交流促進につなげる。

以下、その概要についてご報告いたします。

2 訪問期間 令和 7 年 8 月 21 日 (木) ~ 8 月 26 日 (火) (4 泊 6 日)

3 訪問都市 アメリカ合衆国ミネソタ州セントポール市

4 セントポール市での記念行事

- (1) ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催歓迎夕食会
- (2) セントポール市役所表敬訪問
- (3) 市内視察バスツアー (州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座)
- (4) セントポール・セインツゲーム観戦
- (5) 平和イベント「破壊から友情へ：セントポール・長崎姉妹都市関係」
- (6) ナショナル・スポーツ・センター (N S C) 視察
- (7) コモ公園内視察及び公式夕食会
- (8) ミネソタ州フェア
- (9) 送別会

5 日程

日本時間		現地時間		用務等	用務地等
8/21 (木)	11:45 13:30 16:20			ANA664 長崎空港 発 羽田空港 着 DL120 羽田空港 発	
8/22 (金)	4:00 5:00 5:20 6:45 7:00～	8/21 (木)	14:00 15:00 15:20 16:45 17:00～	ミネアポリス・セントポール国際空港 着 ミネアポリス・セントポール国際空港 発(専用車) ホテル 着 ホテル 発(個人の車) セントポールロータリークラブ・セントポール・長崎姉妹都市委員会主催歓迎夕食会 【会場】ロータリークラブ会員の個人宅(サミットアヴェニュー)	セント ポール
8/23 (土)	23:30～ 0:30 0:30～ 6:30 8:00～ 12:00	8/22 (金)	9:30～ 10:30 10:30～ 16:30 18:00～ 22:00	セントポール市役所表敬訪問 【会場】セントポール市庁舎 市内視察バスツアー(州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座) セントポール・セインツゲーム観戦 【会場】CHS フィールド	セント ポール
8/24 (日)	0:00～ 2:00 4:00～ 6:00 7:00～ 8:30 8:30～ 11:00	8/23 (土)	10:00～ 12:00 14:00～ 16:00 17:00～ 18:30 18:30～ 21:00	平和イベント「破壊から友情へ:セントポール・長崎姉妹都市関係」 (鈴木市長講演、子どもゆめ体験参加者による被爆紙芝居披露、 原爆パネル展、キッズゲルニカ完成品展示) 【会場】ミネソタヒストリーセンター 自由時間(ナショナルスポーツセンターほか) 日本庭園視察 【会場】コモ公園 公式夕食会 【会場】コモ公園	セント ポール
8/25 (月)	0:00～ 6:00 8:00～ 9:30 21:45 22:15	8/24 (日)	10:00～ 16:00 18:00～ 19:30 7:45 8:15	ミネソタステートフェア 【会場】ファルコンハイツ 送別会 【会場】ロータリークラブ会員の方のマンション ホテル 発(専用車) ミネアポリス・セントポール国際空港 着	セント ポール
8/26 (火)	0:15 13:15		10:15	DL121 ミネアポリス・セントポール国際空港 発 羽田空港 着	機内泊 東京

1 セントポール市の概要

セントポール市は、アメリカ合衆国ミネソタ州の州都であり、製造、通信、金融、保険、観光、農業等が盛んな都市で、人口は約 30 万人の都市である。隣接するミネアポリス市とは、ミシシッピ川をはさんで双生児のように発達したことから「双子都市（ツインシティ）」と呼ばれている。

古くから「偉大な北西部」開拓の起点として栄え、流れ豊かなミシシッピ川に育まれた肥沃な大地から農産物の一大集散地として、また交通の要所として発展してきたが、現在はコンピューターや科学機器に代表されるハイテク産業に経済の中心が移っており、世界的に有名な企業の本社をはじめ多くの企業・会社がある。

また、15,000 に及ぶ数多くの湖と川、緑豊かな町で、気候は大陸的気候で雨量は少なく、日本よりも北に位置することから、平均気温は日本よりも低く、寒暑の差は大きい。（時差は日本が 14 時間進んでいる）

スヌーピーの生みの親であるチャールズ・M・シュルツはミネソタ生まれのセントポール育ちであることから、マンガ「ピーナッツ（Peanuts）」に登場するキャラクターの像が、市内各所にある。



2 姉妹都市提携の経緯

両市の姉妹都市提携を提案したのは、セントポール市のルイス・W・ヒル・ジュニア氏で、同氏は、1893 年に北米の大陸横断鉄道「グレート・ノーザン鉄道」を敷設した祖父が経営する汽船会社の長崎航路に乗り、長崎を数回訪れていた。訪問の際に、長崎の美しい自然や親切な人々に魅了されていたが、原爆により破壊された無残な長崎の姿を悲しみ、「市民同士の友情が深まれば、争いのない、平和な世界を築くことができるだろう」との強い信念により、両市の姉妹都市提携の働きかけを行った。

同氏の働きかけもあり、ニューヨークの日本国連協会代表ウィリアム G. ヒューズ氏が、原爆被災から復興して平和都市への道を歩んでいた長崎市とセントポール市の提携を斡旋し、その後、国連事務局が両市に勧誘状を出し、日本初の姉妹都市提携が実現した。

3 セントポール市での主な行事内容

(1) ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催歓迎夕食会（8月21日（木））

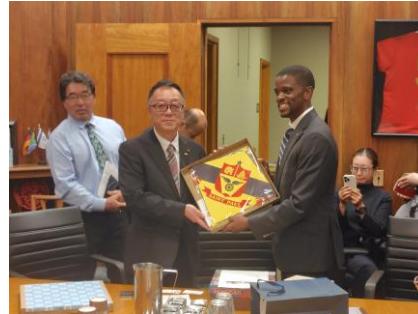
サミットアヴェニューにあるロータリークラブ会員の方の個人宅において、ロータリークラブ・姉妹都市委員会主催による歓迎夕食会が行われた。セントポール市側が姉妹都市委員会やロータリークラブなど30～40人、長崎市側が市公式訪問団9人と長崎ロータリークラブ3人が参加した。セントポール市側から歓迎の和太鼓が披露され、力強い響きが会場を包み込み、日本文化が受け入れられて尊重されていると感じた。



(2) セントポール市役所表敬訪問（8月22日（金））

セントポール市役所を訪問し、メルヴィン・カーター市長及びレベッカ・ノッカー市議会議長を表敬訪問した。記念品として、岩永議長からカーター市長とノッカー市議会議長にセントポール市の市旗がデザインされたハタを贈呈した。

なお、セントポール市庁舎には、2012年セントポール・長崎両ロータリークラブから長崎市に寄贈された「平和のビジョン」像（長崎市平野町に設置）の原像が設置されていた。



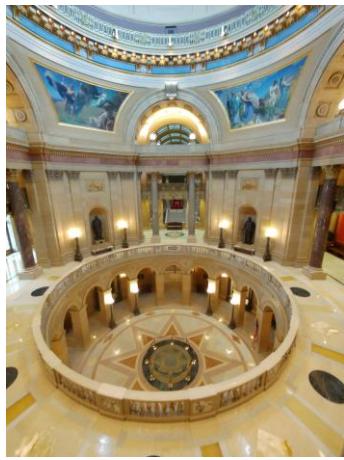
(3) 市内視察バスツアー（州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座）（8月22日（金））

セントポール市姉妹都市交流にゆかりの深い場所である州議事堂、セントポール大聖堂、地球星座を視察した。

ア 州議事堂

アメリカを代表する建築家キャス・ギルバートがバチカン市立国にあるサン・ピエトロ大聖堂をモデルに設計した。1896年に竣工し、1905年に完成したルネッサンス調の建物である。総工費は当時で450万ドル（現在のレートでは2億ドル相当）の費用を要している。最上部には支柱なしの大理石のドームを有し、州議事堂以外では世界でも数えるほどしか存在しない。最初の議事堂は1881年に火災で焼失し、2番目

の議事堂は 1883 年完成したが、手狭となつたために建て替えられることとなり、現在の議事堂は 3 番目である。1972 年に国指定歴史的史跡に登録された。なお、結婚式やコンサートでも使用することができる。



イ セントポール大聖堂

1915 年にアイルランドのジョン大司教が、セントポールの人々のための記念建造物として、バチカンのサン・ピエトロ寺院を模して建築した。1906 年に建築が始まり、1915 年に完成したボザール建築様式の巨大な教会である。アメリカ国内で 4 番目に大きい聖堂であり、1974 年に国指定歴史的史跡に登録された。



ウ 地球星座

ポール・グランランド氏が制作し、1984年にセントポールにあるセントトマス大学に設置された。第50代セントポール市長のジェームズ・シャイベル市長が、1990年8月に「長崎旅博覧会」に参加のため来崎した際に、「世界平和シンボルゾーン」建設計画の趣旨に賛同し、企業や市民から募金を集め、両市の友好の証として平和公園に寄贈した。



(4) セントポール・セインツゲーム観戦（8月22日（金））

セントポール・セインツは、1993年創設のセントポールを本拠地とするマイナーリーグのプロ野球チームで、2021年からメジャーリーグのミネソタ・ツインズ傘下のAAA（トリプルA）のチームである。本拠地であるCHSフィールドは、2015年5月にオープンした球場である。

セントポール・セインツ対ラウンドロック・エクスプレス（テキサス・レンジャーズ傘下のAAA）の公式戦に招待され、市長及び議長がセントポール市のカーター市長とともに始球式を行った。その後の試合観戦を通じ、アメリカの野球文化に触ることができ、セントポール・セインツは徹底したファンサービスを行う地域密着型のチームで、地元ファンは非常に多く、熱狂的であった。

試合開始前には、セントポール・セインツの国際開発ディレクター増渕聖剛氏に球場内を案内していただき、球場内の設備などについて説明を受けた。



(5) 平和イベント「破壊から友情へ：セントポール・長崎姉妹都市関係」(8月23日(土))

ミネソタ歴史協会の本部でもあるミネソタヒストリーセンターにおいて、平和に関するイベントが開催された。

- ・ミネソタヒストリーセンター歓迎挨拶（シニアディレクター キミー・タナカ）
- ・セントポール・長崎姉妹都市委員会歓迎挨拶（ジョアン・プラッチリー会長）
- ・鈴木市長講演

鈴木市長が「長崎市の次世代継承に向けた取組みー被爆者の思いを未来につなぐためにー」をテーマに、被爆の実相や世界恒久平和の実現に向けた取組みなどについての講演を行った。

- ・子どもゆめ体験参加者による被爆紙芝居

子どもゆめ体験に参加した長崎市内の中学生 16 人が、被爆者による被爆体験記を紙芝居にして披露した。

- ・平和祈念式典に招待した姉妹都市高校生 2 人による長崎訪問の報告

8月9日の平和祈念式典に、毎年姉妹都市の高校生（大学生）のうち、「平和活動に取り組んだ経験がある方」「平和活動に興味があり、今後取り組む意欲がある方」等を招待する事業を行っている。今年度はセントポール市から高校生 2 人と引率の先生 1 人を招聘した。長崎市に滞在中、平和祈念式典のほかにもピースフォーラムなどに参加しており、その活動内容の報告を行った。

- ・原爆パネル展及びキッズゲルニカの完成品の展示・レセプション



(6) ナショナル・スポーツ・センター (N S C) 視察 (8月23日(土))

ナショナル・スポーツ・センター (N S C) は、600 エーカー（約 243 万m²）を超える広大なスポーツ・イベント施設を要し、様々なプログラムとサービスにより、年間を通して卓越したスポーツ体験を提供している。広大な敷地内には、サッカー場やゴルフ場、アイスホッケーのリンクなどが多数あり、多くの大会やイベントが開催されており、年間 410 万人が来場している。セントポール・セインツの国際開発ディレクター増渕聖剛氏の案内により施設内の視察を行った。アメリカの 4 大プロスポーツは、アメリカンフットボール、野球、バスケットボール、アイスホッケーだが、ナショナル・スポーツ・センターの視察を通じて、近年はサッカーの人気も高まっていることを実感した。



(7) コモ公園内視察及び公式夕食会（8月23日（土））

コモ公園は、307ヘクタールという広大な土地にゴルフ場、キャンプ場、動物園や有名な温室の植物園（マジョーリー・マクニーリー温室）などがある。来場者数は年間190万人ほどで、1915年11月7日にマジョーリー・マクニーリー温室がオープンしてから今年で110周年を迎える。公園内には日本庭園、茶室、長崎市民から送られた桜の木、ラビリンスがあり、ラビリンスでは8月9日に黙祷も捧げられているとのことだった。なお、日本庭園は、長崎市の樹木医の松田正美氏の指導のもと設計・建築を行い、1979年9月に開設した。

視察後、コモ公園内の施設において公式夕食会が開催された。夕食会には、セントポール市側は、セントポール市の関係者、姉妹都市委員会、ロータリークラブ、在シカゴ総領事館首席領事及び在ミネソタ日本名誉領事などが参加し、長崎市側は公式訪問団のほか、長崎ロータリークラブ、子どもゆめ体験の引率が参加した。岩永議長が、姉妹都市委員会のジェシカ・ベムロット共同会長とともに乾杯の発声を行った。



(8) ミネソタステートフェア（8月24日（日））

ミネソタ州創設の翌年1859年に始まった州の農業をメインとしたお祭りで、毎年8月下旬に12日間開催される。今年は8月21日から9月1日まで開催された。セントポールとミネアポリスの中間地点にあるファルコンハイツが会場となっており、期間中は様々な展示やショーなどが一日中開催される。また、たくさんの食べ物の出店があり、食のお祭りでもある。昨年はフェア期間中に192万人が参加した。

今回、フロート（フェスティバルの車）に乗ってパレードにも参加し、会場内は大盛況であった。



(9) 送別会（8月24日（日））

最終日の夜は、ロータリークラブ会員のマンションにおいて送別会が開催された。送別会には、元セントポール市長で、現在ハムリン大学教授のジェームズ・シャイベル氏も参加した。シャイベル氏は、第50代セントポール市長（1990年～1993年）時に、長崎市の平和公園における「世界平和シンボルゾーン」建設の趣旨に賛同し、セントポール市長として平和モニュメント「地球星座」の寄贈に尽力された。その功績により、平成27年に「長崎市国際親善平和栄誉証」を授与された。



※出発式は長崎空港控室、解散式は羽田空港到着ロビーにてそれぞれ行われた。